

議会運営委員会行政視察報告書

1 視察日程

令和4年10月6日（木）～7日（金）（2日間）

2 視察市及び項目

(1) 長野県長野市

- ・市民と議会の意見交換会について
- ・タブレット端末の導入について

(2) 長野県千曲市

- ・新庁舎における議場の設備，機能等について
- ・タブレット端末の導入について

3 人員

委員長 緑 川 利 行

副委員長 澤 田 新 一

委 員 辰 己 百 恵

塚 本 路 明

西 村 幸 吉

堀 口 明 子

書 記 本 岡 健 志

(長野県長野市)

日時：令和 4 年 10 月 6 日（木） 午後 1 時 30 分から

説明者：議会事務局 総務議事調査課 久保田課長

◇視察目的

(1) 市民と議会の意見交換会について

長野市議会では平成 25 年度から平成 28 年度まで、議会報告会を開催していた。平成 29 年度から「市民と議会の意見交換会」を開催している。意見交換会に変更した経緯等を視察し、本市議会での参考とする。

(2) タブレット端末の導入について

タブレット端末の導入時の状況、現在の使用状況などを視察し、本市議会の参考とする。

◇視察概要

■市民と議会の意見交換会について

1 意見交換会実施に至る経緯

平成 29 年 3 月の議会活性化検討委員会からの中間答申に沿って、より市民からの意見を取り入れて開かれた議会とするため、意見の報告から意見の交換に見直した「市民と議会の意見交換会」を平成 29 年 7 月に開催した。

2 テーマの選定について

4 つの特別委員会の調査・研究事項からテーマを決め、そのテーマごとにグループを分けて意見交換を行う。

令和 4 年 5 月 21 日（土）開催時の意見交換会テーマ

I 持続可能な農林業を目指して（農林業振興対策特別委員会）

～農業の持つ魅力について・林産業を活性化して長野市の森を守る～

II 災害から自分たちの命を守るために（災害対策等特別委員会）

～適切な非難を考えよう～

Ⅲ 善光寺御開帳後の観光誘客の取組とスポーツコンベンションの推進について（観光戦略調査研究特別委員会）

Ⅳ 公共交通について（公共交通対策調査研究特別委員会）

～あなたが利用できる公共交通とは～

3 市民の参加状況

(1) 年 1 回，土曜日または日曜日の 1 日での開催。令和 4 年度は，市役所を会場に，午前 10 時から正午に 2 テーマ，午後 1 時 30 分から 3 時 30 分に 2 テーマ，計 4 テーマで開催している。

オンライン併用の事前申し込みとしており，参加人数は 4 つのテーマ合わせて 50 名程度とのことであった。なお，令和 4 年度からはオンラインでの参加も可能とし，会場での参加と併用している。参加定員はテーマごとに 19 名。全ての議員がいずれかの特別委員会に所属し全員出席している。

(2) 以前行っていた報告会と比較し，参加者も増え，市民の方の意見を直接聞くことができることがいいところである。

一方で，その場での議員の回答は，議員個人としての意見ではなく，議会としての回答となるため，議員からの発言は消極的になってしまふとのことであり，意見の交換ではなく，意見の聴取となってしまうとの反省の言葉があった。

◇所感

議員からの意見が議会としての回答となるので，内容が当たり障りのない，一般的な話となってしまうとのことや，一部の市民の方の発言に時間がかかってしまっている。

■「タブレット端末の導入」について

1 ペーパーレス化の範囲

令和2年12月議会までの試行段階においては、紙との併用であったが、令和3年以降は通知類のFAX送信も行っていない。

現在は、会議規則を改正し、すべてペーパーレス化している。

2 議会外での端末利用について

市から議員に貸与するものであるため、市のセキュリティポリシーが適用される。

タブレット端末の利用に関しては、制限を付けることはせず、どのような使い方をしてもよいこととしている。

アプリも議員の裁量でインストールすることができる。

これは、まず使用することが必要であり、そのためには制限を設けず様々な場面で活用し、タブレット端末に慣れることにつながるとの考えからということであった。

3 リテラシー研修

全ての議員が、セキュリティ研修を受講している。タブレット端末を紛失した場合、ウイルスに感染した場合、及び個人情報の漏えいがあった場合の対応について理解している。



■ 課題

- ・スマートフォンを持ったことがない議員には、導入当初、事務局職員が操作方法を付き添いで教示していた。

次第に操作スキルが上がり、事務局職員が手伝うことは、ほぼなくなった。

■ 導入の効果

1 議員の調査環境の進展・説明方法の向上

単語検索により、膨大な資料の中から目的の資料を速やかに見つけることができるようになった。

市民へ市の政策を説明する際に、タブレットを持っていればいつでも資料を用いて説明ができるようになった。

2 環境負荷の低減

タブレット端末導入以降の約3年5カ月の間に、紙削減枚数 1,792,151 枚、紙削減重量 7.17 トン、CO2 約 9,836 kg を削減できた。

3 費用負担について

タブレット端末の導入により約3年5カ月の間に、職員人件費、用紙代等で総額 838 万円以上の支出が抑えられた。

◇ 所感

最初は、困惑することもあると思うが、議員自身の資料の管理において有益であり、ペーパーレス化になることから、導入の利点が多いと感じた。

セキュリティの点で、一定の制限をかけることを想定していたが、長野市の考え方にも、導入初期については必要なこととも考えられる。



(長野県千曲市)

日時：令和 4 年 10 月 7 日（金） 午前 10 時から

説明者：千曲市議会 小玉新市議長，萩原光太郎議員，
和田秀幸議員，柳沢まゆみ議員

◇視察目的

(1) 新庁舎における議場の設備，機能等について

令和 8 年度の新庁舎供用開始に向け，令和元年に竣工し，新しい議場となった千曲市庁舎を参考とするため視察を行う。

(2) タブレット端末の導入について

タブレット端末の導入時の状況，現在の使用状況などを視察し，本市議会の参考とする。

◇視察概要

■千曲市議会議場について

- (1) 議員用，市民用の大型モニターの設置があり，賛否の一覧が出るなど，現在の八千代市の議場には無い機能があり，八千代市での新しい議場の設備等をイメージすることができた。・議員席側が，階段状となっておりバリアフリー化されていない状況であった。
- (2) タブレットのため Wi-Fi が整備されていた。
- (3) 議員席側は，3 列で階段状になっていた。

■「タブレット端末の導入」について

1 ペーパーレス化の範囲

令和2年10月以降に開催される会議（閉会中の常任委員会を含む。）からタブレット端末を使用開始（令和3年5月末まで紙資料とタブレットを併用）。

令和3年6月定例会から紙媒体を廃止。ただし、予算書、決算書は冊子とし、地図や図面は紙資料とする。

2 議会外での端末利用について（運用方法）

タブレット端末のセキュリティは。

タブレット端末のセキュリティブラウザについては、KAITO を利用し、市独自の設定としている。内容としてはインターネットの閲覧履歴を記録している。

アプリの追加、削除は事務局で一括管理としている。

個人的な使用は、あらかじめ設定されたアプリのみとしている。

遠隔ロックが可能であり、紛失、盗難時に適用する。

3 リテラシー研修

令和2年度に、事務局職員及び議員向け研修会をオンラインにより2回開催。

令和3年度は、議員向け研修会を3回開催。

◇所感

千曲市ではアプリの使用制限をかけるなど、同じ県の長野市とは異なる運用方法であった。

